が平準化しているので止むを得ないと考える。

保健センターの無料化は目的を考慮して

B議員 保健センター利用について ①現在の利用状況について②利用料を徴収せず、無料にする考えはないか

浅妻町長 ①平成8年4月から11月までは、集団研修室132件1万1107人、研修室83件6437人、学習室80件5964人、生活改善室90件5432人、調理実習室157件5474人、ふれあい加工室25件453人、ときめき工房室7件195人、ふれあい学習室5件215人、健康づくり広場29件3245人、野外調理場11件2470人。②条例による徴収を基本とするが、利用者の利用目的等を十分考慮して対応したい。

B議員 ③有料の件数を見ると、平成8年4月から11月までは、集団研修室が1件で30人が使用して3時間、健康づくり広場がA面だけ3件で37人で5時間しか利用されていない。有料がネックになっていると考えるが④平成8年3月に作成した町の行革大綱で、利用料金制度の有効な活用により効果的な施設の運営を図るとなっているが、今後他の施設も有料化にするのか

浅妻町長 ③利用者の利用目的等を十分考慮して対応したい。④行革の答申を尊重しなければならないが、条例等の問題もあり、十分検討して取り組みたい。

B議員 ⑤平成8年度の当初予算の歳入で5万円しか計上していない。わずかなお金を取るのではなく、町民に施設を提供するという考えはないのか

池乗保健衛生課長 ⑤有料利用の内容は、集団研修室は業者の社員研修での使用で、健康づくり広場の利用は夜間を含めたゲートボールの使用となっており、利用者の目的を十分に考慮したうえで、利用していただく様努力したい。

舟券売場強行は議会議決の尊重

B議員 舟券問題について ①河川公園線に関連して、国道8号線の迂回路としての計画の経緯を詳しく説明してほしい②機能保障的道路と言うが、該当する企業の意向はどうか③当初の売場計画との遅れは、どこに原因があるのか④あくまでも売場設置を強行しようとするのは何故か

浅妻町長 ①8号は、昭和52年暫定4車で山田地内供用、その後、新潟ふるさと村やコメリのオープン、新潟市道の小針街路の供用や平成大橋の完成、北部土地区画整理事業等の黒埼インター付近が大きく変わったことから、主要地方道黒埼インター線と国道8号を結ぶ幹線道路としての整備、国道8号黒埼拡幅の事業促進、8号の渋滞緩和、沿線排水対策及び河川公園の利用促進を図るアクセス道路として国道8号と平行する幹線道路として整備するものである。②平成8年2月14日に役場で関係企業に事業概要説明を行い、協力要請をお願いした。③議会での陳情採択後、設置に反対する方々からの陳情、さらに訴訟提起となり、その影響もあって施行者に土地、建物を供給する施行業者の計画説明が、ようやく開催している状況で、それも資料不足でなかなか進まず、今日に至っており、協定についてはまだ締結していない。これらのことが計画の遅れになっている。④議会議決を尊重し、その実行に向け努力するのは当然である。

B議員 ⑤河川公園線の現在の状況はどうか⑥周辺企業に対してどの様に説明しているのか

泉建設課長 ⑤平成8年度事業として平成大橋、小針街路付近の交差点について7000万円の事業費で事業を進めている。⑥事業説明後、企業から新幹線下の土地についての質問があり、場外舟券売場の候補地のようだと答えている。

B議員 ⑦戸田競艇組合の竣工式にどういうつもりで出席したのか⑧町長選が間近であるが、任期中に協定を結ぶ考えなのか

浅妻町長 ⑦礼儀を欠いてはいけないと参画した。⑧時間的に足りないと考える。

B議員 ⑧町長選挙でどの様に訴えていくのか

浅妻町長 ⑧140～50人の雇用増大、入ってくる1億5000万円を福祉に充てることで、意識転換を図り、ご理解をいただきたいと考える。

町長選の公約は合併推進など

C議員 次期町長選立候補について ①これまでの実績について②次期選挙の公約について

浅妻町長 ①新潟市との合併推進では、広域行政対策課を設置し合併問題調査検討プロジェクトチームを発足させ、また、新潟市黒埼町合併問題協議会も7回行われ、次回から建設計画も協議するようになった。ニュー黒埼構想の推進では、北部土地区画整理事業や公共下水事業の着手、北部ではふれあい及びうるおいロード事業、南部では木場城公園、保健センター・国民健康保険健康づくりセンターの建設により健康づくり事業の推進、心の教育フォーラム事業では道徳教育を推進し、都市と農村の共存できる豊かな生活都市づくりに努力してきた。②新潟市との合併推進。自然と都市機能の調和した生活都市づくり。健康で快適な生活環境の構築と教育文化施設の充実。

C議員 ③合併すると町民全体の生活がレベルアップするのか

浅妻町長 ③木場の活性化や幹線道路、都市計画街路、流域下水道などの事業が、現在の財政では非常に難しい問題もあるが、建設計画の中に入ることにより可能と考えられる。

C議員 ④政令都市になると、住民生活がどの様に向上するのか⑤業者から献金を受け取ると工事差別が起こるので、きれいな選挙で戦うことを明言して欲しい

浅妻町長 ④仙台市の例を見ても、幹線道路や情報網などのインフラ整備がなされ住民生活の向上につながっている。⑤明るい希望のある、きれいな選挙を行いたい。

C議員 ⑥政令指定都市の指定を受けるには、100万人規模でなければ実際無理と考えるが

浅妻町長 ⑥自治法上の50万人という資格を持っていることの優位性で、都市をいかに構築して行くかという積極論から考えたい。

合併の住民投票は考えていない

C議員 新潟市との合併について ①任意協議会でまとめられた行政制度の調整項目のうち、当町優位のものが、当分の間とか、現行のとおりとなっているが、新潟市に均一化されてサービスの低下につながらないか②新潟市は環日本海拠点都市としての大規模プロジェクトで財政難が見込まれている中で、黒埼地域の発展は望めないのではないか③町民からの合併合意のとり方をどう考えているのか。また、最終的には住民投票をする考えは

浅妻町長 ①当分の間とは、激変緩和のため期間が経過したら改めて検討することであり、現行のとおりとは、合併を理由に行政制度の変化を行わないということである。行政制度は社会情勢や住民ニーズ等を考慮し、より良き方向に進むと考える。②任意協議会で決定される町づくりビジョンの建設計画に添って実施されると考える。③任意協議会で合意がされた段階で住民説明会を開催し、意見を伺いたいと考える。住民投票は、現時点では考えていない。

C議員 ④建設計画も財政計画の中で行われるものであり、現在の不況下にあっては、黒埼地区は取り残されるのではないか⑤町会議員選挙で6人の議員が住民投票を望むと言っていることについて

浅妻町長 ④建設計画の中に訴えて行きたい。⑤現時点ということでご理解いただきたい。

C議員 ⑥新潟市になれば、黒埼地区の議員が2人位になり、住民要求が反映しなくなり、行政サービスの低下が考えられるがどうか

浅妻町長 ⑥そうならない様、取り組んで行きたい。

C議員 ⑦黒埼町の財政力指数は、平成6年度で、県下11位であり財政力があるが、これで財政運営が出来ず合併というのはどういうことか⑧平成6年3月の町民意識調査で74・5%の人が黒埼町はいい所だと評価し、整備してもらいたいものに、公園緑地、下水道、公共交通機関とあげて期待を持っていることについて

浅妻町長 ⑦もっと良くしたいという考え方である。⑧町を愛する心を持っていることに感謝している。

特養老人ホームの建設は平成13年度を予定

D議員 福祉施設整備について ①当町の特別養護老人ホーム建設の見通し②高齢者保健福祉推進10カ年は、平成11年で終了するが、建設がその後では整合しないのではないか③施設の運営方法について

浅妻町長 ①第4次総合計画のとおり平成13年度からを考えている。②次の高齢者対策として公的介護保険制度が検討中であり、導入の際には整備計画も新たに示されると考える。③社会福祉法人等の施設で運営している。

D議員 ④東新潟病院では敷地面積4700平米で70床の特養を建設した。当町では9000平米を計画しているが、多くないのか⑤民間活力導入を考えられないのか⑥花見の里が来年オープンするが、現在の待機者と、入所した後の待機者はどれ位か⑦虹の里の建設費はどれ位か

外川住民福祉課長 ④平屋で計画しているため。⑥現在28名で、入所後は14名と想定される。⑦約3億7400万円である。

浅妻町長 ⑤十分考慮して検討したい。

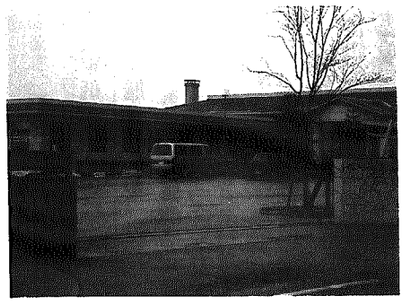
D議員 ⑧虹の里を例にすると、建物で3億7000万円、用地で4億5000万円で合わせて、約8億円が必要となるが、民間で行えばそれ以上かからないと考えるがどうか

浅妻町長 ⑧財政等十分検討した中で進めたい。

D議員 ⑨町民にとっては、平成10年にできれば、どなたが作っても喜ぶと思うが、基金を来年からでも積んで、民間がいつきても応援するつもりはないか

浅妻町長 ⑨検討したい。

小林総務課長 ⑨基金については、剰余金を見ながら努力したい。



黒埼町特産館は黒埼茶豆を取り扱う

D議員 過去4年間の政治姿勢について ①新潟市との合併について②黒埼町特産館について③場外舟券売場について④指名競争入札について

浅妻町長 ①再選後調査検討を行い、結果を住民説明会等で周知し、合併問題懇談会で意見書をいただき。平成7年2月に任意協議会の設置をみ、第7回まで行い、行政制度の未調整が2項目あるので、今後とも努力したい。②当初、商工会から強い申し入れで出発したが、失敗に終わり、なんとしても再建をと、テナント収入による経営を取らざるを得なかった。今後は、町の特産品の枝豆を取り扱う話があるので、支援して行きたい。③陳情の趣旨、議会の誘致採択を尊重し、実現に向けた努力をしてきた。④入札参加資格審査申請書の提出のあった者から指名をしているが、平成7年4月に建設関係例規集を作成し、平成7年8月から指名委員長を助役に改正し、平成8年4月からは空席になった助役に代わりに収入役が代理している。

D議員 ⑤平成7年9月27日に市長と懇談した経費があるが、その内容はなにか⑥新潟市議会議員から任意協議会はしばらく休みにしようという発言について⑦特産館について、新洋技研と10年契約をし、その敷金、保証金3000万円をいままでの債務に充てたが、契約終了時返納出来るのか⑧町長個人で特産館の株を取得して、経営に参加するつもりがあるか⑨舟券売場は交通問題をクリアーすればいいという考えがあるが、第2、3の候補地を考えては⑩町長選に向けて、献金を選挙前にもらわないかどうか

浅妻町長 ⑤特別な問題ではないが、話し合いを行った。⑥それなりに受け止めている。⑧商工振興